

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム ラスパみずき

目標達成計画

作成日: 平成 28年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	5	居室の窓についているストッパーを意識している職員が少ない。身体に対する直接の拘束だけでなく、幅広く拘束を捉え、その是非を全職員で話し合い、鍵をかけない方法を期待したい。	ご利用者が閉鎖感なく、気持ちよく暮らすことが出来る。	ご利用者の身体状況も年が経つに従い変化している。そのことを認識して、ご利用者の現在の状態を把握して居室の窓にストッパーが必要が不要かを検討し、必要ないと判断された方についてはストッパーを撤去する。	12ヶ月
2	9	利用者の生活歴や家族の名前など、本人が大切にしているものにもっと関心を向けその人を知ることにより、さらに踏み込んだ意向の把握ができるよう期待したい。	ご利用者が居心地良く生活できるよう、その方に合ったサービスが提供できる。	フェイスシート等のほか、面会に来られたご家族と親しく話をすることで、若かりし頃のご利用者の生活状況や嗜好などの情報を得て、サービスを提供する際に活かしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。